

## リスクマネジメント経営の実践！

### 第3回 変わる法律、知らないで破綻する企業の増加

企業倒産の多くは不況によるものが多いのですが、意外と目立つのが法律違反です。粉飾決算を始め、いろいろな法律違反で破綻しています。経営者の特徴として、営業出身かエンジニア出身者が多いことがあげられます。従って、人事労務、財務、法務に弱い傾向が見られます。大企業はそれらのプロを採用し、人事部、財務部、法務部と組織を形成できますが、中小企業ではそれらの体制を作れません。しかし、現在はどんどん変わり、新しいルールの経営を求められています。これが、中小企業の経営に大きな影響を与えているのです。その結果、倒産する企業も増えているのが現状です。まさに、コンプライアンス経営が求められています。

では、どのように体制を整えるのか。やはり外部をうまく活用することが、安いコストで強化する一番の方法でしょう。ただ、意外と外部の人間を使いこなせないのも事実です。なぜ使いこなせないのか。その一番の原因は、社長を初めとした経営幹部がそれらを勉強していないことです。弁護士を使いこなせる人は法律を勉強をしている人です。会計人を使いこなせるのは財務、決算書を勉強している人なのです。もちろん、経営者が今から弁護士になる、税理士になる必要はありません。そこまでの勉強はできるものでもありません。しかし、弁護士の話の論点を理解できる、税理士の言っている内容を理解できるほどの勉強は必要なのではないでしょうか。そうすれば、相手の能力を最大限に発揮していただくことができるはずです。

鳩山内閣のテーマは、「コンクリートから人へ」でした。昨年、日本にはなかった消費者庁ができました。テーマの中心は人・民・消費者です。当然、消費者を守るために企業側の管理を強めてくるのが考えられます。ますます企業のリスクは増加することでしょう。

また、コンクリート…ものづくり産業にとっては、成長が期待できない社会の到来を意味しているものかもしれません。このような変化に対応するには、やはり、今まで以上に経営者、幹部の勉強は欠かせません。

そして、政権は菅直人氏に変わりました。奇兵隊と言っています。幕末、高杉晋作が作った軍隊です。士農工商を廃止した平等を掲げる組織です。つまり、事務次官制度の廃止による、かつての刀狩、武士制度の崩壊に似ています。次は道州制、中央官庁の代理だった県、これを廃止することで、さらに権力の移行は起きるでしょう。自県の業者との競争ではなく、他見からの参入組と戦わなくてははいけません。

いまこそ、自社の経営資源の見直し、強い人材、強い組織の構築を急ぐべきだと思います。

その時の組織に、リスクマネジメントを入れ込んで、守りにも強い体制の構築をお勧めいたします。

シニアリスクコンサルタント® 浦嶋繁樹

# 時流を読む

リスクに対する感性が高まれば、自ずと時代の「先」を読む力が備わってきます。最新ニュースをリスクマネジメントの視点で分析し、今後の展開や社会への影響を予想してみましよう。

## 菅内閣 発足

菅直人内閣が誕生した。低所得者保護。高杉晋作が作った奇兵隊、士農工商などを排除した平等を掲げる。世襲ではない東京都選出の総理大臣、これらは何を意味するのだろうか。

中国・インドなどの台頭で、日本は日陰の道に入った。もう一度日本を再生するためには、東京の強さをもっと世界にアピールする必要がある。その命題を競って登場してきたと見るべきだろう。

以前、小泉内閣は都市再生を唱え、東京都への再投資のために、地方の予算をカットした。そのため、地方は冷え込み、票は民主党に行ってしまった経緯がある。菅政権も地方の予算カットに動く可能性はないかを見ておく必要がある。

菅政権の産業への期待は、観光業だろう。東京スカイツリーができるまでは、政権は続く可能性が高い。

## 生産35兆円海外に流出 08年度 雇用96万人下押し

製造業に依存してきた日本だが、工場はどんどん海外に出て行く。それによって、96万人の雇用が失われたようだ。この流れはさらに加速すると思われる。つまり、高失業率時代が続くということだろう。これに代わる産業が今の日本にはない。このようなことは、70年代、80年代のアメリカにも起こった。

日本に期待できる産業は観光業だ。しかし、製造業で育った人間はサービス業に向く人が少ないようだ。

今後、製造業で期待できるものは、高付加価値なもの、例えば、原子力発電装置、高速輸送車両、飛行機などだろう。単価の小さいものは海外に出てしまうことになる。

新しい産業の構築を急いで欲しいものだ。

本コーナーは、(株)日本アルマック主催セミナー「全国リスクマネジメント研究会」の内容を編集したものです。セミナーの概要、参加申込方法等については、お気軽にお問い合わせください。

## 編集後記

“スポーツカフェ”ご存知ですか？店内に巨大スクリーンを据付け、みんなでスポーツを楽しめる喫茶店や居酒屋。2002年FIFAワールドカップが日本で開催されてから、数多くオープンしたようです。この原稿を書いているのは、日本がカメルーンに《1-0》で勝った直後。応援している人々の顔を見てると、やっぱりみんな元気をもらいたがっているんだな…と感じます。それは、最後まで《諦めない》選手の姿に対して、「元気をもらった」「エネルギーをもらった」「ありがとう」という言葉に表れています。それぞれの人達が、抱えているであろう色んな問題をその時ばかりは忘れ、この日のためにハードなトレーニングをしてきた選手達を心から応援する…そしてその一体感。そういうことを感じている心の状態は、自分らしく生きるための大事な鍵になるのだそうです。そんなことがわかってくると、また応援にも熱が入るかもしれませんね。さて次はどこで観戦しますか？頑張れみんな！頑張れ自分！（櫻井）



2010年7月発行 定価378円（税込）

## 株式会社 日本アルマック

〒102-0083  
東京都千代田区麹町4-5桜井ビル4F  
TEL:03-3288-2755 FAX:03-3288-2757  
URL: <http://www.almac.co.jp>

ご意見・ご要望は上記までお寄せください。